

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	市営住宅ストック活用事業		担当部署	経済建設 部 まちづくり 課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	公営住宅法、鳴門市営住宅条例、鳴門市市営住宅ストック総合活用計画、鳴門市耐震改修促進計画	
基本政策(大項目)	2	安全で快適な環境の鳴門づくり		事業期間	開始
政策(中項目)	1	安全・安心都市 なんと	終期		
(小項目)					
施策	1	良好な居住環境の整備			
基本事業	1	住宅ストックの有効活用			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 矢倉団地(12棟)・桑島第二団地(2棟)・明神第二団地(1棟)						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	市営住宅ストック総合活用計画で個別改善とされている市営住宅について、外壁改修を行うほか、早期に耐震診断を行う。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		市営住宅ストック改修・耐震診断棟数	1	1	6	6	1	棟

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	必要な予算の確保と社会資本整備総合交付金の申請を行ったほか、課内で設計等を行った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 屋上・外壁改修棟数	1	1	1	1	1	棟
	2 耐震診断棟数	0	0	5	5		棟
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	市営住宅ストック改修・耐震診断棟数	1	1	—	—	—	棟
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	16,935	17,690	31,680	32,865	19,500	千円	
	財源内訳	国	3,821	5,000	8,589	11,682		5,000
		県	0	0	0	0		0
		地方債	7,500	4,300	13,500	11,600		7,200
		その他	5,614	6,324	9,500	9,500		7,300
		一般財源	0	2,066	91	83		0
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)	4,562	4,562	11,731	11,731	4,562	人		
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.7	0.7	1.8	1.8		0.7	
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費	(事業費と事業にかかる人件費の合計)	21,497	22,252	43,411	44,596	24,062	千円	

【事務事業名：市営住宅ストック活用事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	必要な予算の確保と社会資本整備総合交付金の申請を行ったほか、入札に向けて課内で設計を行っている。平成25年度が計画終了となっている市営住宅ストック総合活用計画の見直しに向けて検討を進めている。(耐震診断の結果、耐震補強工事が必要となった場合は、中長期的な観点から耐震化工事のスケジュールや工法などを検討します)
----------------	---

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	入居者の安全や施設の長寿命化のためには必要な事業である。
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 良好な居住環境の整備 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	市営住宅ストック総合活用計画に基づいて事業を行っており、住宅の長寿命化に効果的である。
<input checked="" type="checkbox"/>		① 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。	社会資本整備総合交付金を活用して事業を行う。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10				

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input style="width: 100%;" type="text"/>			
	どのように改革するのか				